

今治拳友会 事故対応マニュアル

1. 目的

本マニュアルは、今治拳友会における稽古、大会、遠征その他活動中に事故、負傷又は急病等が発生した場合に、迅速かつ適切な対応を行い、被害拡大防止及び安全確保を図ることを目的とする。

2. 基本方針

- 1.人命及び安全確保を最優先とする。
- 2.指導者のみで判断せず、必要に応じ救急要請を行う。
- 3.保護者への連絡を速やかに行う。
- 4.事故状況を記録し、再発防止に努める。

3. 事故発生時の初動対応

(1) 安全確保

- ・周囲の活動を一時停止する。
- ・二次事故防止を優先する。
- ・負傷者を安全な場所へ移動する（必要最小限）。

(2) 状態確認

以下を確認する。

- ・意識の有無
- ・呼吸状態
- ・出血
- ・骨折疑い
- ・頭部打撲
- ・痙攣
- ・痛みの程度

(3) 応急対応

状況に応じて実施する。

- ・軽傷
- ・冷却
- ・圧迫止血
- ・安静
- ・重傷疑い

- ・無理に動かさない
- ・頭部・頸部固定を優先
- ・AED 準備
- ・救急要請

4. 救急車要請基準

次の場合は、原則として 119 番通報を行う。

- ・意識がない
- ・呼吸異常
- ・頭部強打
- ・強い打撃後の意識混濁
- ・痙攣
- ・骨折疑い
- ・大量出血
- ・動けない状態
- ・熱中症重症疑い
- ・指導者が危険と判断した場合

5. 119 番通報時の要点

伝える内容

- 1.発生場所
- 2.事故内容
- 3.負傷者の年齢・性別
- 4.状態（意識・呼吸等）
- 5.通報者氏名
- 6.連絡先

6. 保護者への連絡

連絡事項

- ・発生日時
- ・発生場所
- ・状況
- ・応急対応内容
- ・搬送先（必要時）

※保護者到着まで、可能な限り指導者が付き添う。

7. AED 使用

AED 設置場所を事前確認する。

心停止が疑われる場合は、躊躇なく AED を使用する。

8. 熱中症対応

症状例

- ・めまい
- ・吐き気
- ・頭痛
- ・異常発汗
- ・意識障害

対応

- ・涼しい場所へ移動
- ・水分・塩分補給
- ・衣服緩和
- ・首・脇・足の付け根冷却

重症疑い時は 119 番通報する。

9. 頭部打撲時対応

頭部打撲後は軽症に見えても注意する。

注意症状

- ・嘔吐
- ・頭痛増悪
- ・ぼんやり
- ・反応低下
- ・ふらつき
- ・意識異常

症状がある場合は医療機関受診又は救急要請を行う。

10. 大会・遠征時

指導者確認事項

- ・保険加入確認
- ・緊急連絡先携帯
- ・最寄医療機関確認
- ・AED 設置確認

11. 事故報告

事故発生後、指導者は事故内容を記録する。

・記録事項

- ・日時
- ・場所
- ・当事者
- ・状況
- ・応急対応
- ・医療機関受診有無
- ・再発防止策

12. 再発防止

事故発生後は必要に応じ、

- ・指導方法
 - ・練習内容
 - ・安全管理体制
- を見直す。

13. その他

本マニュアルに定めのない事項は、会長又は指導責任者が協議のうえ対応する。

附則

本マニュアルは、令和8年4月1日より運用する。